

私たちがキリストの奥義を語れるように祈ってください。

コロサイ4:3

2014(26)年 週 報

「家畜小屋での誕生」

12月14日
第2聖日
3382号

聖
言

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3:16

礼拝の恵み 第一八章 第七部 礼拝の仕方

第一節 礼拝は霊的であるべきである

この聖句が神の啓示において三回繰り返し返されているという事実は、その霊的重要性をすべての信者が真剣に考えるべきことを十分に示している。礼拝の秩序を定める聖書の原理も重要であるが、一方、それと同程度に我らの礼拝の仕方も重要でなければならない。一方があれば他方はいらないなどと考えるはならない。両方も互いに補うものとして保持しなければならない。我わらが真に礼拝するためには、善良さと犠牲とが常に手を携えて行かなければならない。

我らの礼拝が霊的であり真実であるためには、神との心からの関係がなければならない。知られている全ての罪を容赦なくさばき、神に告白し、断固としてそれを嫌わなければならない。すべての言い逃れ、あいまいさ、偽善、そうしたものを悪病のように避けなければならない。その考えにおいても、言葉においても行いにおいても、透明な誠実さが信者の特徴でなければならない。神の礼拝が神の御こころを喜ばせ奉るためには、きよい手と、きよい心と真実な目的とが更に必ずともなわなければならない。礼拝される御方が聖であるならば、礼拝する者のがわの生活もそれに応じて聖でなければならない。(1ペテロ1ノ1三〜一六)

(A pギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

